

平成19年度事業報告書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

I. 会議の開催

1. 理事会

(1) 平成19年度第1回理事会

開催日時 平成19年5月31日

開催会場 東京アメリカンクラブ 会議室

出席者数 理事数18名 出席者数18名(出席理事6名、委任状出席理事12名)

議 事 第1号議案 平成18年度事業報告書(案)について

第2号議案 平成18年度決算報告書(案)について

第3号議案 従たる事務所の設置(案)について

第4号議案 短期資金借り入れ限度額(案)について

第5号議案 その他議案について

(2) 平成19年度第2回理事会

開催日時 平成20年3月18日

開催会場 シルヴァーヒル204号室(パレットホール)

出席者数 理事数18名 出席者数16名(出席理事5名、委任状出席理事11名)

議 事 第1号議案 平成20年度事業計画(案)について

第2号議案 平成20年度収支予算(案)について

第3号議案 役員の変更(案)について

第4号議案 その他議案について

2. 評議員会

(1) 平成19年度第1回評議員会

開催日時 平成19年5月31日

開催会場 東京アメリカンクラブ 会議室

出席者数 評議員数19名 出席者数19名(出席評議員9名、委任状出席評議員10名)

議 事 第1号議案 平成18年度事業報告書(案)について

第2号議案 平成18年度決算報告書(案)について

第3号議案 従たる事務所の設置(案)について

第4号議案 短期資金借り入れ限度額(案)について

第5号議案 その他議案について

(2) 平成19年度第2回評議員会

開催日時 平成20年3月18日

開催会場 シルヴァーヒル204号室(パレットホール)

出席者数 評議員数19名 出席者数17名(出席評議員7名、委任状出席評議員10名)

- 議 事 第1号議案 平成20年度事業計画(案)について
 第2号議案 平成20年度収支予算(案)について
 第3号議案 役員の変更(案)について
 第4号議案 その他議案について

II. 事業の報告

アウトワードバウンドスクール(OBS)はドイツ生まれの教育学者クルト・ハーン博士の教育理念「奉仕・努力・不屈」を掲げ学校を運営しています。その教育目標は「若者は経験することにより、正しい価値観を形成することができる。その経験を通して、積極的な好奇心や不屈の精神、理性と自制心など、特に他の人々に対する思いやり等を育成すること」です。

事業の種類は大きく分けて5項目あります。

1. アウトワードバウンドスクール(OBS)の設置並びに運営
2. 冒険(野外)教育指導者の育成
3. OBSの教育理念の普及並びにカリキュラムの調査研究
4. 海外のOBSとの交流、並びに国内外の野外教育関係機関との連携・協力
5. OBS機関紙等の発行

以上各項目に従って説明します。

1. アウトワードバウンドスクール(OBS)の設置並びに運営
 OBSの事業形態は主催事業、受託事業の2種類があります。

(1) 主催事業

1) セルフディスカバリーコース

OBSの教育理念を伝え、青少年健全育成の基本となるコースです。

野外の冒険的な活動、例えば登山、ロッククライミング、カヤック、MTB、沢登りなどの体験を通し、自分を見つめます。自分の本当の姿は、目指す目標は、困難に立ち向かう勇気、あきらめない、仲間を思う気持ち、助け合う心等、常に自分に問いかけながら、チャレンジします。

対象年齢：セルフディスカバリー3日間コース 19～36歳

セルフディスカバリー 5、10、21日間コース 19～29歳

開催場所：北アルプス、丹沢、西湖、富士山、比良山系

開催時期：5月～10月

参加者数：セルフディスカバリー3日間コース 4コース 29名

セルフディスカバリー 5、10日間コース 3コース 23名

エンパワーメント3日間コース 9名

参加者の声：この10日間、今までにないくらい自分と向き合えた。だからこそその分苦しかった。今回のプログラムは、ただの行動でなく、考動で、自分の日常生活

活につながっていた。だから苦しくなったときは、今までの自分のあまさが出てきて、今回は絶対に負けたくないと思った。「できる」「できない」ではなくて「やる」「やらない」だと思った。勇気と体があれば、なんでも出来ると確信した。日常の目標も登山や、ロッククライミング、マウンテンバイク、沢登りと同じで、まずは今いる自分の足元から進んでいくしかない。高すぎると妥協し、今いる自分の足もとが分からないと、できることも困難になると思った。そしてあせらずに一步一步確実に進んでいくことが大事だと思った。私はまだ甘いので、これからはもっと勇気をもって挑戦していきたい。

評価

セルフディスカバリー3日～10日

リアリティのある冒険的なプログラムを通して自分と向きあい、自分の持っている力に気づくことをねらって、プログラムを提供した。ほとんどのコースで参加者の本気さが増し、コースの後半になるにしたがって、

お互いに本音を仲間にぶつけることができ、強い達成感や一体感を感じている。特に仲間と同じゴールに向かってやり遂げた喜びは、今までの生きていたなかで一度も経験した事なかったとの声が多かった。

2) ジュニアコース

大人顔負けの、わくわく、どきどきの冒険の数々に挑むコースです。「やってみたい！」という子どもたちの中から生まれてきた好奇心を、美しい信州の山や川、湖の中で思い切り冒険にぶつけます。自分で考え、やってみることのすばらしさを、テレビゲームのような疑似体験ではなく、身体を使った本当の体験が教えてくれます。ロッククライミング、登山、沢登りといった大人顔負けのプログラムのほか、雪山登山といった冬のプログラムも実施しました。

対象年齢：小学校3年生～中学校3年生

開催場所：北アルプス、雨飾山、小谷村、

開催時期：春休み、夏休み、冬休み

参加者数：信州ジュニアアドベンチャー5日間（春）	9名
信州ジュニアアドベンチャー7日間（夏）	16名
信州ジュニアアドベンチャー5日間（冬）	14名

評価

ジュニアコース

日常にはないほど大きく心を揺らす体験の提供することをねらってプログラムを提供した。暑さや悪天が続く中、大人同様に厳しいプログラムに挑戦し、自分達の力を合わせ乗り越えていった。

日ごろこんなに夢中でひとつのことに取り組んだり、最後までやり遂げたりすることがない子どもたちが、達成経験を繰り返し、自信を得て、他人への共感の経験をしたことが、保護者より高く評価されている。

(2) 受託事業

学校団体、各種団体、自治体、企業などから依頼を受け、OBSの基本理念に基づいたプログラムを提供します。

1) 学校団体の冒険教育コース

学校団体のうち私学の中学・高校が積極的に自然体験活動と取り組んでいます。理事者をはじめ、学校職員が建学の精神を尊び、強い子どもたちを育てる意識と情熱を常に持ち、自然体験学習に時間と労力をかけています。

さらに、インターナショナル・スクール等国際色のある学校は、特に人間教育を重んじ、自然体験活動に関心が強いことがうかがわれます。

長井崎中学	5月17日	42名	西湖
横浜山手女子学園	6月10日～12日	24名	西湖
千里国際学園	7月2日～5日	26名	長野校
公文国際学園	8月27日～30日	160名	長野校
西町インターナショナル・スクール	10月31日～11月2日	39名	西湖
ASIJ (アメリカン・スクール・イン・ジャパン)	11月13日～17日	129名	西湖
HKIS (香港インターナショナル・スクール)	3月10日～17日	20名	長野校

評価

各学校のオーダーに对应されている。グループ活動を通じて本気が増し、本音が言い合える関係が生まれている。特に生徒同士の関係が固定化している学校での成果が高く、評価された。

2) 大学の単位取得冒険教育コース

このコースは、大学のカリキュラムの野外活動単位認定事業となっており、田園調布学園大学が主管となり、神奈川県他大学からも学生を受け入れ、単位認定を行っている。

田園調布学園大学	8月1日～4日	5名	西湖・丹沢
	9月5日～8日	10名	西湖・丹沢

浜松大学においては平成19年4月にスタートした新しい学部（ビジネスデザイン学部）の教科「アウトドア演習」を必須単位とし143名全員が受講した。

この背景には平成17年、経済産業省「社会人基礎力に関する調査」に基づき平成19年に同省から「社会人基礎力」育成のススメについての提案があり、特に大学生に対しては在学中に「基礎力育成プログラム」に取り組むようとの示唆がありました。その一環のプ

ログラムでありました。

浜松大学（全3回） 9月6日～12日 143名

コースに同行した教員のコメントは、「日頃の学生像には見られない新たな一面を見る事が出来た。学校内でのだらだら感は見られず、自然体験に立ち向かう意欲や積極性が見られ、互いに協力し合う姿が見られた。」

3) 各種団体の冒険教育コース

学校関係以外の団体に対する自然体活動の提供です。それぞれの団体の目的、狙い、成果を優先しつつ、OBSの理念並びに指導法に基づいて実施しております。

南アルプス市教育委員会	7月～20年2月	計6回 25名	南アルプス市・長野校
香港OBS	9月22日～28日	15名	長野校
三重青年会議所	3月19日	14名	四日市

4) 企業の研修コース

浜松大学の「基礎力育成プログラム」の社会人向けのプログラムです。対象は新入社員、中堅社員、管理職等多岐にわたりますが、基本は技術訓練ではなく、人間教育であります。人間として、社会人としてどうあるべきか、自然体験活動を通してそのことを感じ、育人格形成教育です。

日本ミシュランタイヤ	4月4日～6日	17名	宇都宮
佐川急便中京支社（全8回）	4月～6月	167名	長野校
NSAT	7月2日～3日	15名	長野校
ロート製薬(一回)	10月10日～12日	15名	長野校
ロート製薬(二回)	10月24日～26日	11名	長野校
ドイツ証券	10月13日	17名	西湖
佐川急便中京支社(全3回)	10月	67名	長野校

評価

各企業のオーダーに对应されている。特にチームで力を発揮する基本的な体験が提供できていることで、日常の仕事の中でも活かせる基の体験になっているとの評価を得た。

5) 指導者派遣

この事業は野外活動を実践している団体に指導者を派遣し、指導方法やリスクマネジメントについての講習などを行っております。

星美ホーム	5月15日～19日	山中湖
国際アウトドア専門学校(全5回)	4月～6月	妙高市
武蔵野市スポーツ振興事業団	6月30日	川上村
東京都キャンプ協会	9月1日	甲州市
ウイズネイチャー（一回）	1月26日～27日	西宮市
ウイズネイチャー（二回）	3月22日～23日	西宮市

2. 冒険（野外）教育指導者育成

この事業はOBSの核となるコースです。OBSの指導者を養成する冒険教育指導者養成コースですが、OBSに限らず、日本の野外活動指導者をを目指す人たちの登竜門となっております。内容は野外に関する知識はもとより、ハードスキルと呼ばれる登山、ロッククライミング、カヤック、MTBなど多くの技術を取得し、さらにソフトスキルと呼ばれる指導法やプログラムの作り方などを学び、OBS冒険教育指導者資格が与えられます。コースは夏季のJAL T、冬季のW-JAL Tのほか、野外救急法のコースがあります。

(1) 冒険教育指導者育成コース（夏期）

JAL T 69日間 5月3日～7月10日 4名

開催地：長野校をベースに北アルプス、雨飾山周辺域、青木湖、犀川、丹沢

(2) 冒険教育指導者育成コース（冬期）

W-JAL T 40日間 1月13日～2月21日 3名

開催地：長野校をベースに八ヶ岳、北アルプス他

(3) 野外救急法資格取得コース

このコースはアメリカにおける権威ある野外救急法で修了者は試験を受け、合格すれば資格が与えられます。野外で事故が起きた時、応急処置、搬出、連絡など救出のための完璧のマネジメントを学びます。

WFR (Wilderness First Responder) 9日間

4月8日～17日 21名

2008年3月30日～4月7日 13名

評価

全てのカリキュラムを全員が修了した。冒険教育指導者としての思いやメッセージが明確になり、それを表現するための指導法（ソフトスキル）と、活動を安全に運営するためのスキル（ハードスキル）を得ることができている。ここ数年、指導者をを目指す人が減っていることが問題になっている。

3. OBSの教育理念の普及並びにカリキュラムの調査研究

OBS活動を広く社会に伝える事業です。大学の講師として講座を持ち、学生に対しOBS活動の意味を伝えます。若い人たちがOBSに興味を持ち、OBSの理念を広げてくれることを期待します。

(1) 大学の非常勤講師の任命を受け、講義並びに実技を行なう。

田園調布学園大学

浜松大学

(2) OBSの 広報普及活動

先生の授業時間の一部をいただき、OBSについて説明をします。OBSが何を目指し、

何を伝えようとしているか伝え、自分の将来の夢や進路について考え、自己実現を目指すサポートをする。

日本体育大学、大阪体育大学、千葉大学、びわこ成蹊スポーツ大学、
関西学院大学、信州大学等

(3) 社会体育実習生の受け入れ

夏休みや学期末休暇を利用し、野外教育の指導者等を目指す学生を受け入れ、指導現場を
オブザーブし、体験実践をしながら野外教育について学ぶ機会を提供します。

大阪体育大学、千葉大学

(4) OBSの説明会の開催

定期的に東京事務所で開催しているが、希望があればいつでも開催する。大学の先生に講
義の時間を割いていただき、学生にOBSの説明を行う。

4. 海外のOBSとの交流、並びに国内外の野外教育関係機関との連携・協力

(1) 海外OBSとの交流

毎年持ち回りで国際会議とスタッフシンポジウムが開催され、全世界から理事者並びに
指導者が集います。シンポジウムではそれぞれの学校のプログラムや、研究が発表され、
質疑応答が行われます。また、互いに学校の状況を語り交流を深めております。

ニュージーランドOBS国際会議出席 平成19年10月 4名

(2) 国内の野外教育関係機関との連携

国内野外活動団体に加盟し、各種講習会の講師派遣並びに各団体が主催するシンポジュー
ム等に参加し、情報交換や交流を深めています。

日本野外教育学会、日本キャンプ協会、東京とキャンプ協会、CONE、中央青少年団体
連絡協議会など。

- ・第10回日本キャンプ会議 オリンピックセンター
- ・日本野外教育学会第10回大会 オリンピックセンター
- ・青少年体験活動全国フォーラム オリンピックセンター
- ・東京都キャンプ協会に理事を選出し運営協力
- 東京都キャンプフェスティバル2007に協力 甲斐市
- 東京都キャンプ協会主催リスクマネジメント・セミナー 川崎市
- ・冒険教育を推進する会に運営協力
- ジュニアアドベンチャー15日間
- ユースアドベンチャー8日間
- おたり森の子クラブ2007 全8回

5. OBS機関紙等の発行

- (1) ホームページの編集並びに更新 (適宜)
- (2) 広報用資料作成